

# 国展工芸

への誘い いざな

②

9/15

## 掛分文打水差

濱田庄司



## 沖縄の技 個性と融合

柳宗悦とともに民藝運動を推進し、国画会工芸部にも草創期から関わった益子の濱田庄司（1894～1978）。沖縄に魅了されて頻繁に通っていたことも有名である。この土瓶の把手は、沖縄の按瓶の成形技法に習って作られた。口クロで円筒形に成形した粘土を輪切りにして、1カ所を切り離し弧状としたものを把手とした。そこに白釉と黒釉の掛け合せや文打を加え、濱田の個性を發揮した。

（益子陶芸美術館・松崎裕子）

「90回記念国展工芸沖縄展—黎明から

現代 匠の系譜」は10月2日まで。月曜休館（9月19日は開館、翌20日は閉館）。

県立博物館・美術館美術館企画展示室。

入場料は一般1200円、小中高500円。未就学児無料。

濱田庄司「掛分文打水差」